

平成30年度第2回
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会次第

日時：平成30年12月17日（月）10：00～
場所：北海道庁本庁舎7階農政部第1中会議室

1 開 会

2 挨 拶

農政部農村振興局農村整備課 活性化担当課長 長谷川元司

3 報 告

（1） 今年度の事業スケジュールについて 資料1

（2） 指導員の委嘱について 資料2

（3） 新規地区の採択について 資料3

4 議 事

（1） 地域活動支援事業について 資料4

（2） 研修事業について 資料5

（3） 別海町別海地区、七飯町七飯地区及び岩見沢市北村豊正地区に係る
評価スケジュールについて 資料6

（4） その他

5 閉 会

平成30年度第2回
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会出席者名簿

日時：平成30年12月17日（月）10：00～

場所：道庁本庁舎7階農政部第1中会議室

【委 員】

所 属	職 名	氏 名	備 考
NPO 法人北海道食の自給ネットワーク	事務局長	大熊 久美子	
北海道大学大学院農学研究院	講 師	山本 忠男	座 長

（敬称略、氏名五十音順）

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備 考
農政部農村振興局農村設計課	活性化担当課長	長谷川 元司	
農政部農村振興局農村設計課	主 幹	服部 聖	
農政部農村振興局農村設計課	主 査	水野 史朗	
農政部農村振興局農村設計課	主 事	柴田 さほり	

平成30年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会		第1回 5/24							第2回 12/17			第3回
委員による 意見交換会					別海地区	岩見沢市北 村豊正地区	七飯地区 →10/10	→11/12 11/13			厚床地区	上ノ国地区
指導員 関連事業	Web版 里づくり (毎月)	第1回 幹事会 (札幌) 5/23		情報誌 里づくり 17号 7/26 道東ﾌﾞｯｸ 7/24～25	道北ﾌﾞｯｸ 8/1～2	地域づく り研修会 (札幌) 9/11 延期 全国研修 (東京) 9/13 ～14	現地研修 (道央) 10/23 ～24	道南ﾌﾞｯｸ 11/12 ～13			第2回幹事 会&指導員 会&地域づ くり研修会 (札幌) 2/13 情報誌 里づくり 18号	
その他									農水省ふる 水基金全国 担当者会議 12/18			

平成30年度北海道ふるさと・水と土指導員名簿

平成30年12月 現在

No.	局 名	市 町 村 名	氏 名	職 業 等	主 な 活 動	推 薦 者	任 期	備考
1	空知	雨竜町	外山 謙一	無職	農村景観保全・自然再生活動等	土地連	平成31年3月31日	
2	空知	沼田町	野 道夫	無職	自然再生活動等	町長	平成33年3月31日	
3	空知	岩見沢市	高柳 広幹	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成33年3月31日	
4	空知	岩見沢市	小西 泰子	農業	地域活動全般	市長	平成33年3月31日	
5	空知	栗山町	金丸 大輔	地方公務員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
6	石狩	石狩市	阿岸 哲広	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成33年3月31日	
7	後志	喜茂別町	遠城 諭史	会社員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
8	後志	喜茂別町	坂爪 洋介	農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
9	後志	喜茂別町	白川 博順	地方公務員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
10	胆振	厚真町	荒城 敏文	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成33年3月31日	
11	日高	浦河町	中村 勇市	農業	環境整備・農作業体験	土地連	平成33年3月31日	
12	日高	浦河町	中川 貢	団体職員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
13	日高	浦河町	以西 明美	自営業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
14	日高	新冠町	佐藤 剛	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
15	日高	日高町	田中 義光	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
16	渡島	知内町	佐藤 暁樹	住職	自然観察指導	町長	平成33年3月31日	
17	渡島	知内町	笠松 悦子	農業	農産物加工販売等	町長	平成33年3月31日	
18	渡島	八雲町	小林 石男	農業	地場産品加工直売	町長	平成33年3月31日	
19	渡島	八雲町	元山 美芳	農業	農産物加工販売等	町長	平成33年3月31日	
20	渡島	七飯町	田中 いずみ	無職	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
21	渡島	森町	宮崎 渉	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
22	桧山	厚沢部町	佐々木 俊司	会社役員	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
23	桧山	江差町	小笠原 明彦	団体嘱託員	農村景観・農作業体験指導	土地連	平成31年3月31日	
24	桧山	上ノ国町	吉見 俊彦	無職	農村環境・景観保全活動等	土地連	平成32年3月31日	
25	桧山	せたな町	富樫 一仁	農業	地域活動全般	土地連	平成31年3月31日	
26	上川	幌加内町	中村 雅義	農業	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
27	上川	南富良野町	岩永 かすえ	農業	農産物地産地消活動等	町長	平成32年3月31日	
28	上川	南富良野町	鷹嘴 充子	会社役員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
29	上川	当麻町	小野寺 孝一	無職	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
30	上川	上川町	佐藤 績	農業	地域活動全般	土地連	平成32年3月31日	
31	上川	上川町	辰巳 明美	農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
32	上川	中富良野町	久保 照美	花卉卸し販売	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
33	上川	鷹栖町	池田 修也	農業	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	新規
34	留萌	苫前町	白府 勝二三	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成33年3月31日	
35	留萌	小平町	長澤 政之	地方公務員	自然体験指導	町長	平成31年3月31日	
36	留萌	小平町	高野 幸子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
37	宗谷	稚内市	菊池 工	会社員	地域活動全般	市長	平成32年3月31日	
38	宗谷	豊富町	尾崎 滋	団体職員	都市農村交流等	町長	平成32年3月31日	
39	林-ㇿ	北見市	馬淵 陽子	農業	農産物直売等	市長	平成33年3月31日	
40	林-ㇿ	北見市	黒須 倫子	農業	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
41	林-ㇿ	湧別町	久保 美恵子	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
42	林-ㇿ	清里町	柳谷 亜紀子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
43	林-ㇿ	興部町	仲元寺 恒平	団体職員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
44	林-ㇿ	興部町	八木 実央	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
45	林-ㇿ	雄武町	石井 恭子	会社員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
46	林-ㇿ	津別町	佐野 多希子	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
47	林-ㇿ	津別町	河本 純吾	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
48	十勝	帯広市	伊藤 由紀子	酪農業	地域活動全般	市長	平成31年3月31日	
49	十勝	鹿追町	高橋 貴子	会社員	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
50	釧路	鶴居村	服部 政人	団体職員	都市農村交流等	村長	平成31年3月31日	
51	釧路	鶴居村	水本 梨佳	酪農業	地域活動全般	村長	平成32年3月31日	
52	釧路	厚岸町	高橋 美佐子	無職	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
53	根室	別海町	水沼 和子	無職	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
54	根室	別海町	渡邊 広美	酪農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
55	根室	別海町	尾形 好枝	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	

平成30年度 北海道ふるさと・水と土指導員名簿

平成30年12月 現在

ブロック	委員（市町村）、◎会長、○副会長、△幹事、アンダーラインは女性					
道央15名	空知5名	△外山 謙一	（雨竜町）	後志3名	遠城 諭史	（喜茂別町）
		野 道夫	（沼田町）		坂爪 洋介	（喜茂別町）
		高柳 広幹	（岩見沢市）		白川 博順	（喜茂別町）
		<u>小西 泰子</u>	（岩見沢市）			
		金丸 大輔	（栗山町）		石狩1名	○阿岸 哲広
	日高5名	中村 勇市	（浦河町）	胆振1名	荒城 敏文	（厚真町）
		中川 貢	（浦河町）			
		<u>以西 明美</u>	（浦河町）			
		佐藤 剛	（新冠町）			
		△田中 義光	（日高町）			
道南10名	渡島6名	佐藤 曉樹	（知内町）	檜山4名	佐々木俊司	（厚沢部町）
		<u>笠松 悦子</u>	（知内町）		小笠原明彦	（江差町）
		○小林 石男	（八雲町）		△吉見 俊彦	（上ノ国町）
		<u>元山 美芳</u>	（八雲町）		富樫 一仁	（せたな町）
		<u>田中いずみ</u>	（七飯町）			
		△宮崎 渉	（森町）			
道北13名	上川8名	中村 雅義	（幌加内町）	留萌3名	△白府勝二三	（苫前町）
		<u>△岩永かすえ</u>	（南富良野町）		長澤 政之	（小平町）
		<u>鷹嘴 充子</u>	（南富良野町）		<u>高野 幸子</u>	（小平町）
		◎小野寺孝一	（当麻町）	宗谷2名	菊池 工	（稚内市）
		佐藤 績	（上川町）		尾崎 滋	（豊富町）
		辰巳 明美	（上川町）			
		<u>久保 照美</u>	（中富良野町）			
		池田 修也	（鷹栖町）			
道東17名	林-㍿9名	<u>△馬淵 陽子</u>	（北見市）	十勝2名	伊藤由紀子	（帯広市）
		黒須 倫子	（北見市）		<u>高橋 貴子</u>	（鹿追町）
		<u>久保美恵子</u>	（湧別町）			
		<u>柳谷亜紀子</u>	（清里町）			
		仲元寺恒平	（興部町）	釧路3名	○服部 政人	（鶴居村）
		<u>八木 実央</u>	（興部町）		<u>水本 梨佳</u>	（鶴居村）
		<u>石井 恭子</u>	（雄武町）		<u>高橋美佐子</u>	（厚岸町）
		河本 純吾	（津別町）			
		<u>佐野 多希子</u>	（津別町）	根室3名	<u>水沼 和子</u>	（別海町）
					<u>渡邊 広美</u>	（別海町）
			<u>尾形 好枝</u>	（別海町）		
計55名						

新規地区の採択について

1 採択地区名

由仁町由仁地区（意識醸成地区）

2 活動団体名

WEAVE（ウィーブ）

3 地区概要

由仁町は、空知管内の最南端に位置するひょうたん型のまちで、人口は 1965 年のピーク以降、人口減少の一途をたどっている。平成 30 年 3 月現在の人口は 5,272 人で世帯数は 2,441 世帯となっている。

基幹産業は農業であり、総農家数 395 戸、耕地面積 5,840ha、稲作、畑作、園芸を主体とする農業地帯である。最近ではハーブなどの観光資源にも力を入れており、国内最大級を誇る英国風庭園「ゆにガーデン」が観光名所となっている。

4 活動地区（団体）の取組及び課題

平成 24 年、普及センターが若手農業女性を対象に開催した農村ゼミナールの参加女性から、「町外から嫁に来たばかりで町内に知人が少ないため、農家の友人を作り情報交換したい。」「地域や農業のことがわからず不安なので、もっと知りたい。」などの意見があったことから、平成 25 年 3 月に若手女性の会を設立した。その後、由仁町の広報で会員を募集し、会員が増加していった。

会の目的は、①仲間作り、②地域や農業についての知ること、③②の成果により地域に貢献することで、対象者は由仁町内の 40 歳以下の農業女性とし、年齢制限を設けることでメンバーの流動化を図っている。

会名の「WEAVE」は、「編む」、「織る」などの意味で、女性らしく丁寧に活動をしたいという思いが込められており、平成 30 年 6 月現在の会員数は、16 名となっている。

課題については、

- ・新規会員に向けた魅力ある活動の展開
- ・由仁町外出身者ならではの地域の価値や農的暮らしの魅力を発見・発信する能力

の向上。

- ・特産品として開発した乾燥野菜の改良
などが挙げられる。

5 活動の方向

- ・由仁町に町外から嫁に来た女性や就農し経営者を目指す女性が魅力を感じ、新規会員として継続的に参加したくなるよう、活動内容の充実を図る。
- ・乾燥野菜は、販売拡大に向けて、若手女性らしいセンスを活かしたパッケージングの改良や販売促進のためのレシピの開発、PR 方法の改善等を行うとともに、衛生管理に関する知識の習得や製造工程の効率化を進める。
- ・由仁町の暮らしや、由仁産農産物の価値を消費者に発信していくため、町内外での販売活動を行うとともに、そのスキルやセンスを磨く。
- ・活動の一環として開催しているハロウィンカーニバルについて、たくさんの人に参加してもらえるよう、広く周知を図る。

地域活動支援事業

(1) 実践活動地区 (5 地区、括弧は年次)

別海町別海地区 (3)、七飯町七飯地区 (3)、岩見沢市北村豊正地区 (3)

根室市厚床地区 (1)、上ノ国町上ノ国地区 (1)

(2) 住民意識醸成地区 (1 地区)

由仁町由仁地区

畫詩動活

団体名	チームNKB	市町村名	別海町	地区名	別海地区					
めざす姿	～ハーブのネットワークづくり～ 町内の酪農女性、特に道外出身の方は酪農業や家事に追われ、積極的な仲間づくりが進んでいない。また、町内の地域資源は乳製品に偏っており、農家個々が高付加価値商品を開発するには至っていない。このことから、新たな地域資源として、ハーブをテーマとした取り組みをすすめる、オール別海の女性の輪づくりを並行させながら、地域の活性化の糸口とする。									
	No.	活動の内容	目標(数値・定性)	解決すべき課題						
	①	○酪農女性の仲間づくり 道外出身の活動の場ということを視野に入れながら、酪農業を営む女性の活動母体(ネットワーク)づくりを進める	・定期的な交流会の開催(年2回)	・普段交流のない酪農女性の参加促進 ・魅力ある活動を継続することにより定期的な交流会の開催						
	②	○ネットワークの拡大 酪農女性を中心とした活動母体に、町内外の他団体(女性中心の団体)を想定)を巻き込んでいく	・3年目には他団体との連携	・町内外の女性ネットワークの構築						
活動の方向	③	○ハーブなど新たな地域資源の発掘 寒冷地であり限られた地域資源に、新たな要素を生み出すよう、まずは冷涼地帯に適しているハーブを中心に、新たな地域資源を発掘していく	・各農家でハーブ栽培の普及	・栽培技術及び加工技術の習得						
	④	○別海の魅力発信 上記①～③の活動について、町内外を問わず広く発信していく	・PRパンフレット作成	・取組みの認知 ・参加者の拡大						
	活動事項	関連No.	平成29年度			平成30年度	最終目標	適用事業		
		①	先進地視察	予算額 100千円	年度目標 1回(鶴居村)	内容 先進地視察	予算額 35千円	年度目標 1回(北見市)		
3年間の活動プロセス	仲間づくり	①②								
	ハーブ栽培の取組み	①②③								
		③	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・ネット)	34千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・資材)	31千円	メイン1ヶ所	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	親子イベント 132千円 12回/年
		②③	ハーブ・キッチン(加工技術研修)	24千円	1回(別海町)	ハーブ・キッチン(調理加工体験)	25千円	1回/年	ハーブ・ガーデン(苗・肥料・資材)	21千円 1回/年
情報発信	①④	農業士会での試供品配布		1回/年	農業士会での試供品配布		1回/年			
	②④									
	②④									
関係者等	別海町 女性農業士会		事務局:別海町 産業振興部農政課							
	別海酪農女性のつどい		事務局:別海町 産業振興部農政課							

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	別海地区	活動団体名	チームNKB	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
親子イベント		ネットワーク作りの一環として、親子参加型イベントの開催。(1回)	(132,383)	
(石鹸作り講習会)	使用料及び賃借 需用費 役務費 報償費 旅費 需用費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋 ▶講師謝金(2時間*14,000円*2 ▶講師旅費(旭川～別海 2泊3日、町内) ▶材料費(練習用)	0 20,000 600 56,000 49,141 6,642	公民館 会社社長級 2人分
		小 計	132,383	
(調理加工体験)	使用料及び賃借 需用費 役務費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋		加工体験施設
		小 計	0	
ハーブ・キッチン	使用料及び賃借 需用費 役務費	▶会場使用料 ▶材料費 ▶ゴミ袋	5,076 16,242 0	加工体験施設
		小 計	21,318	
ハーブ・ガーデン	需用費 需用費	ハーブ・ガーデンの整備。 ▶苗 ▶園芸資材	20,250 3,024	苗 7種類75株 肥料、資材など
		小 計	23,274	
PRパンフレット	需用費	地区活動内容のPRパンフレットを作成し、周知を図る。 ▶印刷代	60,000	A4四つ折り@1000部
		小 計	60,000	
合計			236,975	
			56,000 49,141 126,158 600 0 5,076	報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び賃借料
費目内訳			236,975	

圖書集成

(新)

(新)

地域活動支援事業に係る予算要求書(案)

H30.11.30

事業実施年度	平成30年度				
総合振興局等名	渡島総合振興局				
活動地区名	七飯	活動団体名	七飯の食を考える会		
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	変更後(円)	当初(円)	積算根拠
勉強会 「食育・食材を思う」 及び「ななえ食:歴史」(メンバーに対する意識醸成)	(報償費)		27,500		講師 11,000円×2.5H
	(旅費)		0	0	ブロック会議連携で農村設計課支出
	(需用費)		11,396		活動内容説明資料等
	(使用料)		0	0	(町施設公用使用)
		小 計	38,896	0	
「ななえ食」 地域産地見学会 子供工場見学会 (1回/3箇所程度) 胆振東部地震停電 の影響で直前に中止	(使用料)	地域勉強会 ・小学生	0	50,000	バス借上げ 50,000円×1回
	(需用費)		10,741	10,000	雑機材等10,000円×1回
					※バスは教育委員会バスを無料借用に変更
		小 計	10,741	60,000	
「ななえ食」食育活動 取りまとめ本作成 1,000部 カラー20P	(委託料)	ななえ食の活動を 地域住民に広報活動	0	1,000,000	デザイン・イラスト含む
		小 計	0	1,000,000	
「ななえ食」のパネル 作成 A1～15部	(委託料)	ななえ食レシピ及 び会の活動紹介	0	450,000	デザイン・イラスト含む
		小 計	0	450,000	
「ななえ食」食育活動 HP作成	(委託料)	ななえ食の活動を 地域住民に広報	295,380		デザイン・イラスト等
	(需用費)		33,885		広報資料関係機材
		小 計	329,265	0	
親子調理体験学習 大豆加工勉強会と 併せて親子で七飯 食の調理体験	(報償費)	調理体験と 豆腐加工講習4H	56,000	56,000	評論家 14,000円×4H
	(旅費)			0	地元講師
	(需用費)		35,098	65,000	親子調理体験食材等
	(使用料)			0	(町施設公用使用)
		小 計	91,098	121,000	
合計			470,000	1,631,000	
費目内訳			83,500	56,000	報償費
			0	0	旅費
			91,120	75,000	需用費
					役務費
			295,380	1,450,000	委託料
			0	50,000	使用料及び賃借料
			470,000	1,631,000	

活動計画

団体名		豊正FAM協議会		市町村名		岩見沢市		地区名		岩見沢市北村豊正		
めざす姿		～人が訪れる地域づくりを通して、老後も元気に暮らす～ 近年、高齢化に伴う離農や店舗の撤退などで過疎化が進行しつつある中、生産者組織「北の大地マルシェ」(空き店舗を活用した直売事業と落花生の加工事業を推進)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらえることで地域の活性化を図る。 また、「北の大地マルシェ」事業と並行し、徒前から実施している交流事業(フットパスイベントや落花生まつり)の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など複合的な活動を進めていく。										
		活動の内容		目標(数値・定性)		解決すべき課題						
		北の大地マルシェ直売事業 ・6月上旬から11月上旬まで、JA空き店舗を借用した直売所運営 ・地域住民が集う場所としてのカフェの開催		＜初年度＞ 来場者 期間中900人(予定) 売上 年間750千円(予定) ＜29以降＞ 前年度比10％増		・効率的な直売所運営が図れるよう経営ノウハウの習得 ・都市部に対するPRの実施等 効果的な販促活動 ・構成員の積極的な参画と出荷者の増加による品揃えの確保 ・カフェメニューの開発						
活動の方向		北の大地マルシェ加工事業 ・「塩ゆで落花生」加工販売 ・地場農産物を活かした加工品の研究		＜塩ゆで落花生加工販売＞ 加工品の品質の均一化 ＜加工品の研究＞ 加工品の開発 1品		＜塩ゆで落花生加工販売＞ ・加工技術の習得、向上と委託加工受入体制の確立 ＜加工品の研究＞ ・加工技術の習得、向上 ・加工品開発に係るパッケージデザイン等の情報収集						
		交流事業 ～フットパス交流会・落花生まつり ・7月上旬にフットパス交流会、10月上旬に落花生まつりのイベントを開催し、地場農産物の料理を楽しむながら生産者と消費者や異業種と交流や福祉団体との連携を図る。 ・活動を集落全体に波及させ、多くの住民参加を促す。		運営方法等の具体的な取組手法の定着及び集落の様々な層の住民の参加		・参加対象を広げたいが参加者の参加しやすい体制が整備されていない。(バス の確保等) ・継続した活動につなげたい。 ・集落の維持・活性化に向けた効果を発揮させたい。						
3年間の活動プロセス												
活動事項		関連NO	平成28年度		平成29年度		平成30年度		最終目標	適用事業		
北の大地マルシェ直売事業		①②	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	地域の直売所として活動の安定を図る			
			先進地へのバス視察研修	90	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	120	1回/年開催				
		①	販売促進に係る資料(エプロン・のぼり等)費	215	エプロン15枚・のぼり10本・横断2枚等	販売促進に係る資料(のぼり等)費	508	のぼり10本・横断2枚等	336	のぼり10本・横断2枚等		
		①	マルシェPRポスター・チラシ作成	86	100部作成 1,000部作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	260	130部作成 5,000部作成	260	100部作成 3,000部作成		
北の大地マルシェ加工事業		①						5	4品種			
		①②	加工販売に係るマーケティング研修	20	1回/年開催	加工・地場農産物を用いた料理講習会	205	2回/年開催	販売実技実習	171	1回/年開催	地場農産物のPRにつなげる
		①③	加工技術向上に係る研修	66	1回/年開催	販売に関する実技研修会	171	2回/年開催	加工技術向上に係る研修	205	1回/年開催	
交流事業		③	コースの整備	71	案内看板の設置						地域のイベントとして定着させる	
		③	フットパス交流推進に係る研修	43	1回/年開催	集落づくり・交流に関する勉強会	54	1回/年開催	地域づくりに係る研修	54		1回/年開催
		③	フットパスPRポスター・チラシ作成	83	50部作成 1,000部作成	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成	100	各500部作成	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成	100		500部作成
関係者等		岩見沢市農政部農業基盤整備課		主事		木村 唯有		(連絡先 0126-23-4111)				
		JAいわみざわ農業振興部門		次長		林 真一		(連絡先 0126-22-6924)				
		宮島沼水鳥・湿地センター		主任		牛山 克己		(連絡先 0126-66-5066)				
		北海土地改良区水土里ネット推進室		室長		高柳 広幹		(連絡先 0126-22-2400)				
		空知農業改良普及センター		普及員		越 浩一		(連絡先 0126-23-2900)				

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	空知総合振興局			
活動地区名	岩見沢市北村豊正	活動団体名	豊正FAM協議会	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
①北の大地マルシェ直売事業 生産者組織「北の大地マルシェ」(空き店舗を活用した直売所)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらうとともに、地域住民が集う場所としてのカフェ事業を開業し、地域の活性化を図る。	直売・加工・交流に係る勉強会(使用料及び貸借料)	先進的な直売・加工・消費者交流事例の視察及び現地での意見交換を通じて指導・助言を得る。	120,000	バス借り上げ料 (石狩・空知方面視察40人乗)
	販売促進に係る資材(エプロン・のぼり等)の導入(需用費)	直売所の販売促進を円滑におこなうため、資材等を導入する。	400,700	需用費
				エプロン@7,800円*10枚
				のぼり一式@5,600円*20本
				伝統野菜の種子一式@4,700円
				看板@50,000円*1ヶ
				ポイントカード@20円*3,000枚
				買い物カゴ@900*20ヶ
				ジャンパー@7,800円*10枚
	PRポスター・チラシ作成(需用費)	北の大地マルシェ直売所のPRポスター、チラシを作成し、周知を図る。	195,000	需用費
				ポスター100部 チラシ3,000部
				ポスター(A3)@450円*100部 チラシ(A5)@50円*3,000部
		小 計	715,700	
②北の大地マルシェ加工事業 直売所に加工設備を併設し「塩ゆで落花生」の加工販売や地場農産物を活かした加工品及びカフェ開設に向けた研究を行う。	加工及び地場農産物を用いた料理講習会(報償費+旅費+需用費)	加工・地場農産物を用いた料理講習会を行い、加工及び料理技術の向上を図る。(講師:札幌市レストランシェフ)	140,000	報償費
				14,000円/人*5H*2回 2回/年
			5,440	旅費(札幌～岩見沢)
				1,360円*2*2回
	農産物等の販売に関する実技研修会(報償費+旅費+需用費)	消費者の関心を引く販売方法に関する実技研修を行い、販売スキルの向上を図る。(講師:札幌市マネキン協会のスタッフ)	60,000	需用費(食材費)2回
				食材費:1,000円/人*30名*2回
			100,000	報償費
				5,000円/人*5H*2人*2回
			10,880	旅費(札幌～岩見沢)
				1,360円*2*2人*2回
			60,000	需用費(食材費)2回
				材料費:1,000円/人*30名*2回
		小 計	376,320	
③交流事業 ～フットパス・落花生まつり 従前から実施している交流事業の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など、複合的な活動を進める。	集落づくり・交流推進に関する勉強会(報償費+旅費)	農村集落の現状と交流等の活動に向けた勉強会を開催し、集落づくりや交流活動のノウハウを習得する。	44,000	報償費
				11,000円/人*4H 1回/年
			5,000	旅費(旭川～岩見沢)
				5,000円*1回
	PRチラシ作成(需用費)	フットパス交流会・落花生まつりの開催案内チラシを作成し、周知を図る。	5,000	使用料(会場借り上げ)
				5,000円(4H)
			100,000	需用費
		小 計	154,000	チラシ(A5)@100円*500部*2種類
		科目別	815,700	需用費
			21,320	旅費
			284,000	報償費
			125,000	使用料
合計			1,246,020	

別記様式第4号

活動計画

団体名		厚床地域農村再生プロジェクトチーム		市町村名	根室市	地区名	厚床
めざす姿		地域資源を活かし、農商工連携を促進しながら、都市と地域の交流拠点づくりに取り組み、地域の活性化を図る					
活動の方向	No.	活動の内容		目標(数値・定性)		解決すべき課題	
		活動の内容	活動の内容	活動の内容	活動の内容	活動の内容	活動の内容
3年間の活動プロセス	①	◇厚床地域ビジョン作成に関する取り組み ・地域間及び世代間交流人口の増加 ・地域資源(魅力)の確認	・地域ビジョン作成 ・防災キャンプ開催 ・自然学習会開催 ・フットパス整備 ・交流会開催 ・地域マップ作成 ・ワークショップ開催	・地域への活動内容の周知及び理解を得る ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確率			
	②	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進	・SNS等を活用した情報発信 ・ワークショップ開催	・役割分担の確率			
	活動事項	関連No.	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終目標	適用事業
			内 容	内 容	内 容	年度目標	
	①		内 容	内 容	内 容	年度目標	
	①		内 容	内 容	内 容	年度目標	
活動内容の地域への周知及び理解の促進	①	防災キャンプ	173,658	1回	防災キャンプ	500 1回	
	①	自然学習会 (オオトサオウチンダ)	41,460	1回	自然学習会 (オオトサオウチンダ)	50 2回	
	①	フットパスコース整備	41,460	1回	フットパス看板設置	100 1コース	
	①	交流会(パークゴルフ、百人一首など)	0 8 1 2回	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10 2回	中山間ふるさと・水と土保全対策事業
	①						
	①②	ワークショップ	277,489	3回(内1回は防災キャンプ)	ワークショップ	3回(内1回は防災キャンプ)	
関係者等		②	SNS等での情報発信	-	SNS等での情報発信	-	

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	厚床	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
戦略プラン作成 に向けた地域住 民の意識醸成	報償費	ワークショップ	132,000	◆報償費
				11,000円*4hr*3回
	旅費		145,000	◆旅費(札幌～根室)
				航空機,日帰り*3回
		小 計	277,000	
戦略プラン作成 に向けた地域拠 点の再確認 地域間及び世 代間交流	報償費	防災キャンプ	0	◆報償費
				11,000円*4hr*2日
				5,000円*4hr*2日*4人
	旅費		24,050	◆旅費(札幌～根室)
				JR,1泊2日
	需用費		149,434	◆需用費
				食材、資材など
		小 計	173,484	
地域間及び世 代間交流	使用料及び賃	交流会 ・パークゴルフ		◆使用料
				300円*20人
	使用料及び賃			◆賃借料
				100円*20人
		小 計	0	
コース整備を通 じて、地域資源 の再認識及び 地域間交流	需用費	フットパスコース整備	41,040	◆需用費
				草刈機燃料代 10,000円
				長靴 6,804円
				合羽 34,236円
		小 計	41,040	
		小 計	0	
合計			491,524	
			132,000	報償費
			169,050	旅費
			190,474	需用費
			0	役務費
			0	委託料
			0	使用料及び賃借料
費目内訳			491,524	

活動計画

団 体 名		松山南部サヤエンドウ生産組合企画班	市町村名	上ノ国町	地 区 名	上ノ国
めざす姿		・「絹さやえんどう」を活用して、上ノ国町の「食」の魅力を地域内外に発信し、また地産地消を促進することで地域内経済を活発にして地域振興、産地の維持を図る。				
活 動 の 方 向	No	活動の内容	目 標 (数値・定性)		解決すべき課題	
	①	町民の「絹さやえんどう」に対する関心を高める	・食育イベントの開催(年1回) ・「絹さやえんどう」に関係した情報の発信(随時)		・活動に必要な絹さやえんどうの確保。 ・絹さやえんどう消費の行事化。 ・町民の「絹さやえんどう」に対する十分な理解。	
	②	地元料理店と連携し「絹さや料理」を開発、定着を図る	・「絹さやえんどう料理」の開発 ・「絹さやえんどう料理」の定番メニュー化		・試作、定番メニュー化に必要な絹さやえんどうの確保。 ・地元料理店との「絹さやえんどう料理」の開発、郷土料理化。 ・「絹さやえんどう料理」を町民に対し提供する時期の検討。	
	③	活動体制を強化する	・活動報告会の開催(年1回)		・生産者に対し「絹さやえんどう」による地域食文化の充実、地産地消による地域循環経済についての理解。	
	④	「絹さやえんどう」地域内流通体制を構築する	・「絹さやえんどう」の販売場所の確保		・地区内販売用「絹さやえんどう」の確保、集荷体制。 ・販売場所の検討。 ・販売単価の設定。	
資料 4						

3年間の活動プロセス												適用事業
活動事項	関連No	平成30年度			平成31年度			平成32年度			最終目標	
		内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
町民向けの食育活動	①	絹さやえんどう料理教室の開催	千円72.5	1回／年(2月)	絹さやえんどう料理教室の開催	千円100	1回／年(2月)	絹さやえんどう料理教室の開催	千円100	1回／年(2月)	町民に上ノ国町が「絹さやえんどう産地」であるという理解を広める。『絹さやえんどう』の固定需要確保	
		上ノ国産さやえんどうのPR	2	2回／年								
		38周年イベントの開催	560	1回／年(3月)								
「さやえんどう料理」の開発、定着	②	「絹さやえんどう料理」の開発	155.5	5回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」の開発	255.5	5回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」週間開催	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」の郷土料理化	
		さやえんどうスイーツの開発	0	2回／年								
活動体制の強化	③	農業者、関係機関及び地元商工観光業者との連携強化	125.5	1回／年(3月)							持続性のある活動体制の確立	
		専門家による地域振興活動に関する助言	100	1回／年(3月)								
「絹さやえんどう」地域内販売体制の構築	④				「絹さやえんどう」地域内販売の試行	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう」地域内販売の試行	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう」販売体制の確立	
代表 大口 勇 連絡先												
関係者等	農林課農業林業グループ主幹 笠谷 将人 連絡先 0139-55-2311											
	生産施設課調査役 出口 秀樹											
	広域主査(高付加価値化) 深尾 伸一 (作物(稲))											

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	檜山振興局			
活動地区名	上ノ国	活動団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積 算 根 拠
町民向けの食育活動	需用費	上ノ国産さやえんどう	2,418	見積り
	需用費	38周年イベントの開催	25,000	イベント料理代
			50,000	法被代(見積り)
			126,360	レシピ集(見積り)
	報償費		42,000	小西先生、アンジェラ佐藤先生講師代
	旅費		112,250	小西先生、アンジェラ佐藤先生旅費
	使用料及び貸借料		18,400	会場借り上げ代
		小 計	376,428	
「さやえんどう料理」の開発、定着		小 計	0	※38周年イベントに集約
活動体制の強化		小 計	0	
合 計			376,428	
費 目 計		08_報償費	42,000	
		09_旅費	112,250	
		11_需用費	203,778	
		12_役務費		
		13_委託料		
		14_使用料及び貸借料	18,400	
			376,428	

別記様式第 1 号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業の地域活動支援事業に係る実施要望調書

総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所 専門普及指導員 増井 梨絵	市町村名	由仁町
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE
市町村担当者所属・氏名	由仁町産業振興課農政担当 主査 関澤 和之	関係指導員名	
活動地区の現状及び活動団体の活動状況(実績)			
<p>由仁町は、空知管内の最南端に位置し、総農家数 395 戸、耕地面積 5,840ha で、稲作、畑作、園芸を主体とする農業地帯である。</p> <p>【WEAVE の設立】</p> <p>平成 24 年、普及センターが若手農業女性を対象に開催した農村ゼミナールの参加女性から、「町外から嫁にきたばかりで町内に知人が少ないため、農家の友人を作り情報交換したい。」「地域や農業のことがわからず不安なので、もっと知りたい。」などの意見があったことから、平成 25 年 3 月に若手女性の会を設立した。その後、由仁町の広報で会員を募集し、会員が増加していった。</p> <p>会の目的は、①仲間作り、②地域や農業についての知ること、③②の成果により地域に貢献することで、対象者は由仁町内の 40 歳以下の農業女性とし、年齢制限を設けることでメンバーの流動化を図っている。</p> <p>会名の「WEAVE」は、「編む」、「織る」などの意味で、女性らしく丁寧に活動をしたいという思いが込められている。</p> <p>平成 30 年 6 月現在の会員数は、16 名となっている。</p> <p>【これまでの活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員お宅訪問 会員相互の家を訪問し、地域について理解を深めた。 2. 視察研修、勉強会 乾燥野菜を製造販売している美唄市つむぎ屋への視察や、農業用語勉強会などを行った。 3. 栽培実習、農産物加工実習 野菜の栽培実習やソーセージ、ポンデケージョ、豆腐等の加工実習を行った。 4. 野菜販売 由仁町でのゆにマルシェや札幌市でのクラシェなどの販売イベントに参加し、自分たちで栽培した野菜を販売した。 5. 食育活動 由仁町三川小学校にて、食育活動を実施した。 6. 乾燥野菜の商品開発 平成 27 年より、自分たちが生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品開発を目的として、乾燥野菜の商品開発に取り組んで来た。 視察研修や試作品作りを経て、由仁町のふるさと創造事業を活用して乾燥機の導入を行った。また、平成 29 年に町内関係者を招いて試食検討会を開催し、商品案を作成した。 平成 30 年度夏より、試験販売を開始する予定である。 7. ハロウィンカーニバルの開催 育児中のメンバーが多いことから、地域の子育て支援と消費者交流および野菜直売を目的に、平成 25 年よりゲームや調理実習、野菜直売等を組み合わせた、幅広い世代が楽しめるイベントとして実施している。 			

活動地区及び活動団体の活動における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限を設けているため、組織の維持には新規会員の確保が必要であるとともに、新規に由仁町に嫁ぎ入会した会員が、地域に溶け込み活躍できるようになるための継続的な研修が必要である。 ・由仁町地域の価値や農的暮らしの魅力を再確認する気づきの場や、それらを発信していくためのスキル習得が必要である。 ・地域の食材を生かした料理や食文化を継承するために実習の機会が必要である。 ・特産品として開発した乾燥野菜の試験販売を開始するが、販売拡大に向けてパッケージングの検討や普及のためのPR活動、レシピの開発が必要である。また、衛生管理に関する知識の習得と徹底及び製造工程の効率化も必須である。 ・ハロウィンカーニバル来場者の満足度を向上し、由仁町の地域や農業の魅力をさらに多くの人に伝えて行くために、開催内容の充実と周知方法の改善が課題である。
地域の活性化に向けた展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ・由仁町に町外から嫁に来た女性や就農し経営者を目指す女性が、地域の魅力を理解し、地域コミュニティに溶け込み、生き活きと農村生活を送るための素地となるべく、新規会員を募り、継続的に学習や地域貢献の活動を行う。 ・親世代から地域の食文化を継承するための実習の機会を設ける。 ・乾燥野菜という調理が簡単な形で野菜を提供することで、規格外野菜の活用と、栄養のある野菜の消費拡大を目指す。 ・乾燥野菜は、試験販売を通して、若手女性らしいセンスを活かしたパッケージングの改良や販売促進のためのレシピの開発、PR方法の改善等を行う。 ・乾燥野菜の本格製造に向け、衛生管理に関する知識の習得や製造工程の効率化を進める。 ・由仁町やそこでの農的暮らしの魅力、由仁産農産物の価値を消費者に発信していくために、町内外での販売活動を行うとともに、そのスキルやセンスを磨く。 ・ハロウィンカーニバルは、消費者交流や農産物販売の機会とするのみならず、近年高齢化や担い手不足の問題を抱える地域に、たくさんの人が訪れ、子育ての一助となる魅力ある地域づくりにつながるイベントとしていきたい。 ・上記の活動を通して、地域に仲間を作り、生産活動や地域貢献を通じた新たな生きがいの創造により、由仁町の地域やそこでの生活を豊かにしていきたい。

別記様式第1号の2

活動地区（活動団体）に係る概要調書（平成30年6月現在）

活動地区名	由仁地区			活動団体名	WEAVE
地区（団体）の主な活動歴					
<p>（平成25年3月）発足</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員お宅訪問 会員相互の家を訪問し、地域について理解を深めた。 2. 視察研修、勉強会 乾燥野菜を製造販売している美唄市つむぎ屋への視察や、農業用語勉強会などを行った。 3. 栽培実習、農産物加工実習 野菜の栽培実習やソーセージ、ポンデケージョ、豆腐等の加工実習を行った。 4. 野菜販売 由仁町でのゆにマルシェや札幌市でのクラシェなどの販売イベントに参加し、自分たちの栽培した野菜を販売した。 5. 食育活動 由仁町三川小学校にて、食育活動を実施した。 6. 乾燥野菜の商品開発 平成27年より、自分たちが生産した野菜の有効活用と由仁町の特産品開発を目的として、乾燥野菜の商品開発に取り組んで来た。 視察研修や試作品作りを経て、由仁町のふるさと創造事業を活用して乾燥機の導入を行った。また、平成29年に町内関係者を招いて試食検討会を開催し、商品案を作成した。 7. ハロウィンカーニバルの開催 育児中のメンバーが多いことから、地域の子育て支援と消費者交流および野菜直売を目的に、平成25年よりゲームや調理実習、野菜直売等を組み合わせた、幅広い世代が楽しめるイベントとして実施した。 					
代表者の活動歴等		WEAVE 代表 大塚 恵梨菜			
平成26年以前	札幌市にてスポーツインストラクターとして勤務 スキー、体操、水泳、リトミック等を指導				
平成27年	結婚を機に由仁町に転入				
平成28年	WEAVE 入会				
平成30年	WEAVE 代表				
平成30年	由仁町スポーツ推進委員				
地区（団体）の構成員に関わる事項					
氏 名	年齢	性別	職 業	特 記 事 項	
大塚 恵梨菜	33	女	農業	代表	
小澤 尚子	38	女	農業	副代表	
蓑島 亜里紗	35	女	農業	副代表	
安川 紗千枝	33	女	農業	会計	

別記様式第 2 号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成 30 年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積算根拠
①学習・グループ活動事業 町外から嫁に 来た女性が、地 域の魅力を認識 し、地域に溶け 込むための活動 を行うとともに、 地域の食の伝統 の継承を目指 す。	直売・加工・交流 に係る勉強会 (使用料及び賃借 料)	先進的な直売・加工・消費 者交流事例の視察及び現 地での意見交換を通じて 指導・助言を得る。	160,000 円	バス借り上げ料 (十勝方面)
	農産物加工実習 (報償費) (需用費)	実習を通して、豆腐、味 噌、漬け物等の地域に根 付いた農産物加工技術を 身につける。	35,000 円	講師謝礼 5,000 円×4hr 材料費 15 名×1,000 円
②乾燥野菜加工 販売事業 生産した野菜 の有効活用と由 仁町の特産品と して開発した乾 燥野菜の試験販 売に取り組むと ともに、商品の改 善や販売促進の ための取り組み を行う。	販売促進にかか る資材費(パッケ ージング・ラベル) (需要費)	乾燥野菜の販売促進を円 滑に行うための資材を導 入する。	120,000 円	パッケージング 800 枚×100 円 表示ラベル 800 枚×50 円
	販売促進にかか る出店料及び運 搬料 (使用料及び賃借 料) (役務費)	直売イベントに参加し、 乾燥野菜の販売および 由仁町の PR と消費者交 流を行う	30,000 円	クラシェ(札幌市 チカホ)出店料 10,000 円 運搬料一式 20,000 円
	レシピ印刷作成 (需用費)	乾燥野菜を使ったレシピ を開発し、配布する。	60,000 円	レシピ集印刷 1,000 部×60 円
③交流事業 町内外から多く の人に訪れても らい、消費者との 交流や魅力ある 地域づくりにつな がるイベントとし てハロウィンカー ニバルを開催す る。	ハロウィンカーニ バル PR ポスター・ チラシ作成 (需用費)	ハロウィンカーニバルの PR ポスターとチラシを作成 し、周知を図る。	60,000 円	ポスター 60 部×500 円 チラシ 500 部×60 円
費目内訳			20,000 円 255,000 円 20,000 円 170,000 円	報償費 需用費 役務費 使用量及び賃 借料
合 計			465,000 円	

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書（普及センター経費）

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	空知総合振興局空知農業改良普及センター空知南東部支所			
活動地区名	由仁地区	活動団体名	WEAVE	
目的(ねらい)	項目(費目)	内 容	金 額	積算根拠
WEAVE 活動支援	資料印刷 (需用費)	活動支援のための資料 を印刷する。	15,000 円	トナー代等 (リコー IPS10 SP6310 用) トナー1 本(リサイ クル) $10,610 \text{ 円} \times 1.08$ =11,459 円
	巡回活動支援 (需用費)	WEAVE 会員の栽培指導、 活動準備支援、打合せ 等の巡回を行う。	53,600 円	ガソリン代等 $134 \text{ 円/リットル} \times 50 \text{ リットル}$ (8～3月分)
	販売促進支援及 び直売・加工・交 流に係る勉強会 支援 (旅費)	札幌での直売活動を支 援する。 先進地視察に同行し、 研修を支援する。	14,000 円	札幌往復×2 日 4,000 円 十勝往復(宿泊) 10,000 円
費目内訳			14,000 円 68,600 円	旅費 需用費
合 計			82,600 円	

平成30年度研修事業

1 第1回幹事会

- (1) 日 時 平成30年5月23日(水) 10:00～11:40
- (2) 場 所 道庁本庁舎7階農政部第1中会議室
- (3) 出席者 12名(うち幹事9名)
- (4) 内 容 指導員委嘱状況、ブロック別ミーティング、地域づくり研修会、現地研修会、里づくり17号(30年7月)

2 情報誌「里づくり17号」(7月26日発行)

- (1) 部 数 1000部
- (2) 内 容
 - ① リレーインタビュー North-Woman
 - ② ふる水事業実施地区紹介 別海町 別海地区
 - ③ 実践!地域づくり 湧別町 ユペの里

3 地域づくり研修会

- (1) 日 時 平成30年9月11日(火) 13:15～17:30
- (2) 場 所 ホテルポールスター札幌 2F セレナード
→胆振東部地震の影響により延期

4 現地研修

- (1) 日 程 平成30年10月23日(火)～24日(水)
- (2) 場 所 石狩市、岩見沢市、栗山町、夕張市
- (3) 出 席 22名(うち指導員15名)
- (4) 内 容 石狩市:美登位創作の家で EZO-ROCK 草野代表の講演、ランチミーティング
岩見沢市:農産物直売所「北の大地マルシェ」で小西指導員の活動視察
栗山町:雨煙別小学校で金丸指導員及び新規就農者の活動報告
夕張市:夕張市佐藤主幹から夕張市での関係人口拡大に向けた取組視察

5 ブロック別ミーティング

- (1) 道東ブロック
 - ① 日 程 平成30年7月24日(火)～25日(水)
 - ② 場 所 弟子屈町、鶴居町
 - ③ 出 席 16名(うち指導員7名)
 - ④ 内 容
 - ア 現地研修 屈斜路ガイドステーションわっか 木名瀬 佐奈枝氏
ハートンツリー 服部 佐知子氏
 - イ 活動報告 服部 政人指導員(鶴居村)、水本 梨佳指導員(鶴居村)
 - ウ ワークショップ

(2) 道北ブロック

① 日 程 平成30年8月1日(水)～2日(木)

② 場 所 中頓別町、豊富町、稚内市

③ 出 席 15名(うち指導員6名)

④ 内 容

ア 現地研修 そうや自然学校

中頓別町産業課 多田 優彦参事

三浦 毅主査

地域おこし協力隊 北川 直樹氏

イ 活動報告 菊池 工指導員(稚内市)

ウ ワークショップ

(4) 道南ブロック

① 日 程 平成30年11月12日(月)～13日(火)

② 場 所 七飯町、森町

③ 出 席 16名(うち指導員8名)

④ 内 容

ア 講演 北海道大学大学院農学研究院 山本 忠男氏

イ 施設見学 道の駅 なないろ・ななえ

ウ ワークショップ

6 WEB版「里づくり」の発行

(1) 発 行 毎月、随時

(2) 内 容 委員会、研修事業、指導員の活動状況等について

7 全国研修

(1) 日 程 平成30年9月13日(木)～14日(金)

(2) 場 所 東京都渋谷区代々木 国立オリンピック記念青少年総合センター

(3) 内 容

① 講演 むすび(株)代表取締役 深澤 了氏

(株)生産者直売のれん会代表取締役社長 黒川 健太氏

企業組合旬彩工房代表理事 山口 ひとみ氏

② 活動紹介 茨城県城里町 七飯地区

ななかいの里生産研究部会副部長 盛田 守氏

埼玉県飯能市 樂山人塾の活動事例紹介

駿河台大学現代文化学部教授 平井 純子氏

③ 意見交換会

----- (以下、今後の予定) -----

8 第2回幹事会

- (1) 日 程 平成31年2月13日(水) 10:00～
- (2) 場 所 道庁本庁舎7階農政部第1中会議室
- (3) 内 容 指導員会役員の選任、地域づくり研修会、現地研修、ブロック別ミーティング、里づくり19号(31年7月)の企画等

9 地域づくり研修会(第1回指導員会)

- (1) 日 程 平成31年2月13日(水) 13:15～
- (2) 場 所 ANAクラウンプラザホテル(札幌市中央区北3西1) 白楊の間
- (3) 内 容
 - ① 基調講演 (株)studio-L 山崎 亮氏
 - ② パネリスト活動報告 山形県(ふる水指導員) 鈴木 正氏
山形県(ふる水指導員) 田中 俊昭氏
北海道(ふる水指導員) 田中 いずみ氏

10 情報誌「里づくり」18号(2月下旬発行)

- (1) 部 数 1000部
- (2) 内 容
 - ① リレーインタビュー ○○○○
 - ② 里づくりアドバイザーレポート ○○○○指導員
 - ③ その他 新規委嘱者紹介等

別海町別海地区、七飯町七飯地区及び岩見沢市北村豊正地区に係る評価スケジュールについて（案）

〔１〕平成３０年度に北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業を完了する別海町別海地区、七飯町七飯地区及び岩見沢市北村豊正地区の活動実績を整理し、事業の点検・評価を行う。

〔２〕評価とりまとめに当たってのスケジュール

１月１７日 第２回委員会 スケジュール確認

１月 下旬 「点検・評価書」（案）・資料の各委員へのメール送付

２月 中旬 農村設計課への意見の送付・とりまとめ

３月 月上旬 「点検・評価書」（修正案）の各委員へのメール送付

３月 中旬 第３回委員会で決定

〔３〕点検・評価項目

I 点検・評価について

１ 点検・評価の対象地区

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業の地域活動支援事業の実施活動地区のうち、平成３０年度に事業を完了した別海町別海地区、七飯町七飯地区及び岩見沢市北村豊正地区。

２ 点検・評価の方法

毎年度事業実施地区を訪問し、事業の進捗状況の確認や関係者へのアドバイスを
行っている北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会委員からの意見や、活動
団体、関係町村及び（総合）振興局を対象としたアンケート調査結果を基に道が評
価した。

３ 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
NPO法人北海道食の自給ネットワーク	事務局長	大熊 久美子	
フードライター		小西 由稀	
北海道大学大学院農学研究院	准教授	小林 国之	
北海道土地改良事業団体連合会	常務理事	本間 勤	
北海道大学大学院農学研究院	講師	山本 忠男	座長

（氏名五十音順）

Ⅱ 別海町別海地区に係る評価について

1 別海地区の活動内容について

(1) 地域及び活動団体の概要

〔 地域の位置、気候、産業など 〕

(2) 活動の推移

活動事項	年度	活 動 状 況

【活動状況写真】

(3) 活動への委員会の助言と反映状況

① 委員会からの主な助言内容

② 委員会の助言の反映及び効果

(4) 目標の達成状況

活動計画に明記した目標（数値・定性）の達成状況を以下に示す。

目標（数値・定性）	目標の達成状況

2 別海地区の活動の評価について

当該地区の活動を、(1) 活動の状況、(2) 活動への支援体制、(3) ふる水事業の目的（趣旨）達成の可能性という3つの視点に基づき評価する。

(1) 活動の状況

(2) 活動への支援体制

(3) ふる水事業の目的（趣旨）達成の可能性

Ⅲ 七飯町七飯地区に係る評価について

Ⅳ 岩見沢市北村豊正地区に係る評価について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業実施計画

計画期間：平成27年度～平成31年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標
3. 事業計画

北海道

1. 事業実施の基本方針

現状と課題	<p>本道の農村は、農家戸数の減少や高齢化の進行などが続いており、コミュニティ機能が脆弱化し、地域の活力の低下が顕在化している。</p> <p>特に、中山間地域においては、農地の立地条件が悪く、生活環境等の定住条件に恵まれないため、過疎化・高齢化が進み、担い手への集積が進まず遊休農地が増加するなど、農業生産活動の停滞はもとより、農村地域の存立や農業・農村の多面的機能の発揮に支障を来している状況にある。</p> <p>このため、生態系の保全整備や都市との交流、地域の特色ある料理開発など、農地や自然環境、景観など地域の多様な資源を活かした様々な活動を促進してきたが、地域の自立した持続的な取組には至っていない状況にある。</p>
事業実施の基本方針	<p>農地や土地改良施設、自然環境、景観、伝統文化などの多様な資源を発掘し、これら資源を地域住民が主体性を持って活かした多様な活動を促進する。</p> <p>具体的な方法としては、地域の現状把握や住民意識の醸成、明確な目標を設定した３年程度の活動計画の策定、計画に基づいた実践活動、活動の評価・検証などの一連の取組を地域住民が積極的に参画して実施することにより、住民の自立意識を醸成し、継続性を持たせた効果的な住民活動が実施されるよう促すものである。</p> <p>また、地域の取組体制など条件が整った地区においては、関係機関が連携し、各種事業や施策を有効活用して、環境や産業、食、交流、文化など各種分野に関する様々な活動を地域マネジメントの視点を持って戦略的・総合的に進め、相乗効果の上がるような取組を行う。</p> <p>以上のような取組を効果的に実施するためには、ふるさと・水と土指導員等地域住民活動を側面支援する人材が必要になることから、地域に愛着を持って、地域づくりに貢献しようとする意欲ある人材の育成にも努める。</p> <p>これらの取組の成果については、全道各地で住民活動の活発化を図る観点から、ＨＰや情報誌の発行などを通して、全道に普及する。</p>
計画後の目指す姿	<p>全道各地で地域の多様な資源を活かした自立意識を持った住民の活動が持続化することにより、農業・農村の多面的機能が良好に発揮され、中山間地域の活性化を図る。</p>

2. 事業実施の成果目標

事業区分	主な成果目標	数値目標	内容
調査研究事業	道内における地域住民活動の活発化	地域活動支援地区１０地区実施	他の地区のモデルとなるような多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区を１０地区程度実施する。
研修事業	北海道ふるさと・水と土指導員の育成	指導員会及び研修会の開催（３回／年）、全国研修会への派遣（５名／年）	地域住民活動の活発化に向けた指導・助言等を行う人材を育成するため、北海道ふるさと・水と土指導員等を対象にした全道研修会の開催や全国研修会への派遣を実施し、指導員等の資質の向上を図る。
推進事業	事業の普及・促進	委員会の開催（２回／年） 事業内容や取組を紹介したＨＰの更新	事業の効果的な実施が図られ、また、事業の成果及び農業・農村の多面的機能の役割などが広く道民に理解され、道内各地において住民活動が活発化するよう、委員会で助言を得るとともにＨＰ等を活用して取組の成果等を普及する。

3. 事業計画

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値		計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
				～H26	うちH26		H27	H28	H29	H30	H31
調査研究事業	地域活動支援	地域の現状把握や活動計画、実践活動への支援	道内における地域住民活動の活発化	30地区	2地区	10地区	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区
研修事業	指導員会及び研修会の開催	指導員等における情報交換や地域づくりの手法等を学ぶ指導員会及び研修会の開催	指導員等における地域づくりに関する知見の習得	34回	3回	15回	3回	3回	3回	3回	3回
	全国研修会への派遣	国が開催する研修会に北海道ふるさと・水と土指導員等を派遣	指導員等における地域づくりに関する知見の習得	93名	4名	25名	5名	5名	5名	5名	5名
	「里づくり」の発行	地域づくりの先進事例や指導員の活動状況などを掲載した情報誌の発行	指導員等における地域づくりに関する知見の習得	10回 10,400部	2回 2,000部	10回 10,000部	2回 各1,000部	2回 各1,000部	2回 各1,000部	2回 各1,000部	2回 各1,000部
推進事業	委員会の開催	学識経験者等から事業の効果的な実施のための指導・助言等を得る委員会の開催	指導・助言等の事業への反映	46回	3回	10回	2回	2回	2回	2回	2回
	ホームページでの情報発信	事業の内容や取組状況を広範囲に発信	事業に対する道民等への理解の促進	H12年8月開設	更新	継続的に実施	更新	更新	更新	更新	更新
参考事業費							12,360	13,513	13,314	13,307	

3. 事業計画

事業区分	事業名	現況値		計画期間 における 必要事業 量	計画期間 における 実績事業 量(H30ま で)	参考年度別事業量									
		～H26	うちH26			H27	実績	H28	実績	H29	実績	H30	実績	H31	実績
調査研究事業	地域活動支援	3 0 地区	2 地区	1 0 地区	5 地区	2 地区	2 地区	2 地区	0 地区	2 地区	1 地区	2 地区	2 地区	2 地区	
研修事業	指導員会及び 研修会の開催	3 4 回	3 回	1 5 回	1 2 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	
	全国研修会へ の派遣	9 3 名	4 名	2 5 名	2 0 名	5 名	6 名	5 名	6 名	5 名	5 名	5 名	3 名	5 名	
	「里づくり」 の発行	1 0 回 10, 400部	2 回 2, 000部	1 0 回 10, 000部	8 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	2 回 各1, 000 部	
推進事業	委員会の開催	4 6 回	3 回	1 0 回	1 2 回	2 回	3 回	2 回	3 回	2 回	3 回	2 回	3 回	2 回	
	ホームページ での情報発信	H12年8 月開設	更新	継続的に 実施	継続的に 実施	更新	随時 更新	更新	随時 更新	更新	随時 更新	更新	随時 更新	更新	
参考事業費						12,360	10,476	13,513	10,299	13,314	9,614	13,307			

別表




事業実施対象市町村一覧

総合振興局等名	市町村名
石狩 1市1村	<u>石狩市</u> 、新篠津村
渡島 2市9町	函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町
檜山 7町	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町
後志 1市12町 6村	小樽市、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
空知 9市14町	夕張市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、砂川市、歌志内市、深川市、 <u>岩見沢市</u> 、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町
上川 4市14町 2村	<u>旭川市</u> 、士別市、名寄市、富良野市、鷹栖町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、美瑛町、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町
留萌 1市6町1村	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町
宗谷 1市8町 1村	稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、幌延町
ホーヅ 2市13町 1村	<u>北見市</u> 、紋別市、美幌町、大空町、津別町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町
胆振 2市7町	登別市、 <u>伊達市</u> 、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町、白老町、安平町、厚真町、むかわ町
日高 7町	日高町、平取町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町
十勝 14町1村	士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、更別村、 <u>幕別町</u> 、大樹町、広尾町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町
釧路 1市6町1村	釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町
根室 1市3町	根室市、別海町、標津町、羅臼町
合計	25市、120町、14村 計159市町村

(※下線は、一部指定されている市町村)

ふるさと・水と土保全対策指導員所在市町村（H30.12月現在）

凡例：

-  指導員設置済
 指導員未設置
 事業対象外市町村

